

ふくふくまつり開催

6月11日(日)、5年ぶりに「ふくふくまつり」が開催されました。もみじは聴覚障害者協会の手話体験コーナーのお手伝いをしました。あいにくの大雨で参加があるかどうか心配でしたが、開始10時から大勢の参加者でにぎわいました。昨年、今年とTVドラマで手話が話題になりましたね。以前は手話体験コーナーを遠目で見て敬遠していたような若い世代の方、お子さんにせがまれてご家族全員で挑戦! など今までにない顔ぶれでした。そして、みなさんキラキラと目を輝かせて聞こえない方とコミュニケーションをとっている時、声のサポートは必要ないと気づきました。人の交流って本当に大切です。コロナ禍で人に会うことを控えていましたが、こうしてイベントなどに参加すると心が触れ合えることの喜びを実感できますね。とても充実した時間を過ごせました。お疲れさまでした。そして考えてみましょう。私たちは手話サークル会員として正しい行動がとれたのか? あらためて振り返ってこれからの活動につなげていけたらいいですね。

手話サークルもみじ今後の予定

7月20日(木) 10時~11時30分

福祉センター地下研修室

7月27日(木) 10時~11時

福祉センター地下研修室

8月の活動はお休みです

※お問い合わせ shuwamomiji30@yahoo.co.jp

四者連絡会のお知らせ

8月26日(土) 14時~16時

福祉センター 2階研修室

会員より

乃南アサさんの小説「窓」を読んだ。主人公は聴覚障がいを持ちながら普通校に通う女子高生。聾学校に通う男子と知り合うが、その学校の正門に「ろう学校」と表示されているのを見て優しさを感じたとある。

彼女は聾の字を辞書で調べたら、

1. 耳の聞こえない人
2. おろか、くらい

と出ていてこの字が嫌いになったと。

耳の上に龍とはなぜだろう。タツノオトシゴを聾者のマーク使っているのはこの関係かな。どなたか教えて下さい。

岩戸 五郎

活動の感想

会員みなさんにきいてみました

ふくふくまつり、手話が溢れていました。
雨の1日でしたが、本当にお疲れ様です。



手話を使つてのゲームは楽しみながら手話単語が覚えられて、間違つてもろうの皆さんに丁寧に教えて貰えるので感謝しかないです。

今年度はクイズやゲームが多めで毎回楽しく参加しています。ろう協の皆さんも来てくださつて、手話で交流できて嬉しいです。

最近の活動はとても充実していて、勉強になります。

懐のふかい会員の皆さんに助けられ、充実したサークル活動を楽しんでいます。
入会してよかった。



手話を楽しむ会員同士、尊重し合い・温かい声掛けをしたい。その思いから7月6日の担当者は、「相手を褒める」「良い所を見つける」の合言葉をテーマに、参加者全員の長所を考えて貰った。そして暖かい気持ちを、参加者全員が手話に乗せて表出。又、受け手側も感想を手話表現で、伝えた。手話のシャワーと笑顔の花が沢山咲いた、楽しい2時間だった。手話が分からなくても、伝えたいと言う気持ちが、一番大切だと実感！



新年度になり、コロナの規制が緩和され、以前のように活動することができるようになりました。この間、福祉センターも社会福祉協議会・FVACも大変だったと思います。いつも活動を支えていただき感謝です。